



# 清水けんいち 市政レポート

政策討議資料  
**第49号**  
2022年  
新年号

### 【ご挨拶】

健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。本年が皆様にとりまして、幸多き年になりますよう心からお祈り申し上げます。

議員活動を市民皆様に御報告する事で、少しでも開かれた政治にしていきたい。皆様と力を合わせて「住みやすく・暮らしやすく・子育てしやすい街」深谷を実現していきたい！

そうした強い思いで、「市政レポート」を発行して参ります。

この市政レポートは私の分身です。毎号ファイルに綴って読んでもらっている子は幸せ者で、そのままポイされている子は涙を流しているかもしれません。

皆さんにお願いします。どうぞ、この子を可愛がってあげてください。

### 【議会報告】

深谷市議会  
令和3年度 第4回定例会12月議会が終了しました。

### 主な議案

- ・指定管理者の指定について（可決）
- ・令和3年度一般会計補正予算（第7号）（可決）
- ・グリーンパーク条例の一部を改正する条例（可決）
- ・火葬場条例の一部を改正する条例（可決）
- ・保育園条例の一部を改正する条例（可決）
- ・財産の無償譲渡  
（他、市長提出議案23件・議員提出議案1件・報告1件）

されている道路整備の要望も勘案しながら、道路拡張や側溝整備、歩道の整備を進めて参ります。

## 9月17日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)



### 「逆境に処しては断じて行え！ 決して惑うてはならない」

郷土の偉人・渋沢栄一翁の教えであり、東京商工会議所も「逆境の時こそ力を尽くす」という、スローガンを掲げております。大変な時だからこそ、将来に向けて動き出さなければと、私もこの言葉に勇気づけられた一人です。

議席番号15番・清水健一、発言通告書に基づき質問を行ないます。

### 質問 小前田駅北地区のインフラ整備について

小前田第5雨水幹線工事について、整備着手の経緯と総工事額、工事期間、完成時期と効果について伺います。

**答弁** 小前田駅北地域は排水が悪く、浸水被害を解消するため、小前田第5雨水幹線の計画に着手し、当初は蟹沢排水路に放流を考えたが、蟹沢排水路の能力が不足していることから放流先を荒川に変更しました。総工事額は約27億円、工事期間は平成23年度から令和4年度となっております。事業実施効果ですが、雨水の放流先が分散されることから、蟹沢排水路の負担軽減や小前田駅北地区の浸水被害が改善できるものと考えております。

**再質問** 小前田駅北地区には、小前田上・小前田北・緑台・武蔵野中郷・武蔵野上郷地区の子どもたちが通う、重要な通学路に歩道がなく、危険なので度々、整備の要望をしてきましたが、排水の行き場がなく、側溝整備ができないとの理由で先延ばしされてきましたが、小前田第5雨水幹線の完成により、その問題が解消されますので、道路拡張や歩道整備ができるようになります。計画を立てて整備していく考えについて伺います。

**再答弁** 小前田第5雨水幹線や公共下水道污水管整備の進捗を見据えながら、地元自治会から提出



### “小前田駅北地区のインフラ整備について”の質問を終えて

花園町の時代から、この地区は区画整理の計画があり、インフラ整備が後回しにされてきた経緯があります。台風の大雨の時など、秩父鉄道下のアンダー部では、道路冠水が頻繁に発生し、車が立ち往生した時もありました。時間と約27億円という多額の費用が掛かりましたが、下水道整備も含め、やっとここまで来たかという安堵感でいっぱいです。しかし、ここからが本当の意味での始まりですので、通学路の安全確保のためにも頑張りたいと思います。



### 清水の 直近の成果

5年前の平成29年12月に1回目の質問を行い、平成30年12月に2回目の質問を行った、深谷市の水道事業についてですが、市全体で約1,100kmある配水管を毎年約6億円かけて11kmの老朽管敷設替え工事を行っている事業ですが、100年掛かり600億円を拠出する訳ですが、敷設する管の寿命もありますので、いつになっても終わらない事業で、私自身、調査研究を行い、敷設に利用している鑄鉄管をポリエチレン管（以下、ポリ管）に変えたらと提案しました。そもそも、ポリ管は長寿命で地震にも強く、欧米でも主流であり、我が国でも民間建築では広く使われております。

市担当部も最初は難色を示していましたが、昨年は全体の約3割強をポリ管にした結果、なんと約8,750万円も経費が削減されました。



### 新型コロナウイルスワクチン追加接種(3回目接種)について

ワクチンを既に2回接種しても、時間が経つと免疫が低下することが報告されています。このことから、2回目接種終了から原則8か月以上経過した18歳以上のかたを対象に追加接種（3回目接種）が下記の予定で実施されます。

2回目の接種をした時期	接種券発送時期	予約開始時期	接種開始時期
令和3年5月～6月前半	令和3年12月下旬	令和4年1月11日	令和4年1月～2月
令和3年6月後半～7月	令和4年1月下旬	令和4年2月1日	令和4年2月～3月
令和3年8月	令和4年2月中旬	令和4年3月1日	令和4年4月
令和3年9月以降	未定	未定	未定

※予約開始時期は現時点の予定です。ワクチンの供給状況によって変更となります。

# 12月8日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)



「天に神あり 地に心あり  
人生、誠を以って貫く」

郷土の偉人・渋沢栄一翁と同じ時代を生き、明治・大正のメセナ（文化支援）の両雄と評された、森村市左衛門の教えであり、「正直・親切・勤勉」の教えは、森村グループ、ノリタケ、日本ガイシ、TOTOなどの企業や森村学園の運営に、今でも活かされており。

政治や経済だけではなく、福祉や教育、文化支援にも力を注がれた両雄に改めて感謝と敬意を表します。

議席番号15番・清水健一、発言通告書に基づき質問を行ないます。

## 質問 電車利用の安全について

本年10月31日のハロウインの夜、京王線の特急電車で、3号車に座っていた72歳の男性が、いきなり、映画「ジョーカー」の恰好をした男に殺虫剤をかけられ、刃渡り約30センチのナイフで胸を刺されました。それから犯人は、次の獲物を狙うように、車両を移動すると、5号車で2リットルのペットボトルに入れたライターオイルを撒いて火をつけ、悲鳴を上げて逃げまどう乗客は、電車が駅に緊急停車したものの、ドアが開かず、行き場を失い、窓からホームに逃げる映像がテレビで放映されました。犯人は2号車に座ってナイフを持ったまま、悠々と煙草を吸い、駆けつけた警察官に身柄を確保されましたが、10代から70代の乗客17名が重軽傷を負いました。

犯人は、その後の供述で「小田急線での事件」を参考にしたと述べております。オリンピック開催中の8月6日に同じような事件が小田急線で発生し、男女10名の犠牲者が出ております。

こうした事件が続く、電車内での安全を再認識すべきとの声が多く聞かれ、国も法改正に動き出しました。そこで質問します。

深谷市も補助金を出し、秩父鉄道が3月から全駅でICカード乗車システムを導入し、駅が無人化になるのではと、心配される方から相談が寄せられております。また、開校150周年を迎える花園小学校の児童55名が電車通学で秩父鉄道を利用しています。子どもたちの安全が守られていくのか聞かせて下さい。



**答弁** 秩父鉄道からICカード乗車券導入に続き、駅係員の配置見直しを検討されていると伺っておりますが、花園小学校の児童が利用している駅の安全対策を要望して参ります。

**再質問** 最近、全国各地で震度5クラスの地震が発生しており、大きな災害が起こらなければと危惧しておりますが、いざという時、逃げ場がない電車では、普段からの準備と気構えが重要であると考えます。深谷駅の1日平均乗降客数は20,236人、岡部駅が

6,302人、秩父線小前田駅が1,097人、永田駅が492人、武川駅が951人となっております。災害時などに、旅客の避難誘導のため、各駅において避難所を把握しておくべきと思いますが、現状を伺います。

**再答弁** 防災計画策定時に鉄道各社の方と意見交換などを行い、各駅付近の避難場所は把握されていると思いますが、各駅の職員さんなどに徹底して頂けるよう努めて参ります。

## “電車利用の安全について”の質問を終えて

創業120年を迎えられた秩父鉄道は、渋沢栄一翁との関係も深く、3代目社長の諸井恒平氏は、栄一翁の親戚で、日本煉瓦製造(株)の専務を務めた後に秩父セメントを創業されました。現在の社長さんも、「自分たちが儲かるだけの事業はやらない」、「沿線地域の発展に貢献するのが我々の使命である」と述べられております。そうした企業が子どもたちの安全を蔑ろにはしないと信じての質問でした。

## 質問2 花園IC拠点整備について

観光振興、農業振興や商業振興に、どのように取組んで行くのか伺います。また、アウトレット（三菱地所サイモン）との契約が30年と長期にわたることを考えると、周辺環境の整備や市内の産業振興のために基金を創設し、そこから予算を支出するようにすべきと考えるが、市の見解を伺います。

**答弁** 花園IC拠点整備の目的である「農業と観光の振興」に関してですが、当市の観光資源として、野菜にスポットを当て、現在、「野菜を楽しめる街」のイメージを定着させ、本市の農業の魅力を発信し、アウトレットの集客力と「農業王国ふかや」のイメージアップにより、市内回遊を促進していきたいと考えております。商業の振興に関しては、市内商工団体と連携しながら、来訪者の市内各地への回遊や消費行動に繋がるように取り組んで参ります。

基金に関しましては、今のところ、必要な予算は計画に沿って拠出していきます。



## “花園IC拠点整備について”の質問を終えて

現在、急ピッチでアウトレットやキューピーの建設や周辺道路の工事が進められておりますが、この事業は施設がオープンして終わりではなく、そこからが正念場であると考えております。全国各地のアウトレットや周辺の経済状況を視察してきた結果、渋滞緩和策や産業振興はオープンしてからではないと、分からない部分が多くあります。予算が必要な時に、予算がないので！では困りますので、やはり基金は必要と考えますので、継続して市に提言して参ります。



# 清水健一連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8  
TEL 048-584-0395

FAX 048-584-0396

ホームページ：http://www.shimizu-kenichi.jp(ブログ公開中)

E-mail：info@shimizu-kenichi.jp



## プロフィール

昭和36年1月27日生まれ（60才）

家族構成 妻、長男、長男妻、長女、次女、孫2人、犬1匹

- 埼玉県立熊谷工業高校 卒業
- 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
- 深谷市PTA連合会 会長
- 深谷市立花園小学校 PTA会長
- 深谷市立花園中学校 PTA会長
- 埼玉県立深谷高校 PTA会長
- ◎ ふかや市商工会 副会長
- 深谷市議会 議長

このレポートは、政務活動費  
を使わず清水個人の自費  
で発行しております。